



**JACTFL/SOLIFIC 主催
シンポジウム実施要項**

シンポジウム

**第6回外国語教育の未来を拓く：
豊かな人間性を育む多言語・複言語教育**

【午前の部】

◆基調講演◆

田中 克彦

(一橋大学名誉教授)

「多言語とのつきあい方ーことばの不規則性と類型」

【午後の部】

◆パネルディスカッション◆

日本の中等教育における多言語教育 1

◆分科会◆

分科会 1：日本の中等教育における多言語教育 2

分科会 2：豊かな人間性を育む実践報告 (1) 小学校・中学校の部

分科会 3：豊かな人間性を育む実践報告 (2) 高等学校・大学の部

日 時：2018年3月11日(日) 10:00~17:00

会 場：上智大学四谷キャンパス

<http://www.sophia.ac.jp/>

主 催：一般社団法人日本外国語教育推進機構 (JACTFL)

上智大学国際言語情報研究所 (SOLIFIC)

☞ 実施概要

テーマ：豊かな人間性を育む多言語・複言語教育

開催趣旨：

本シンポジウムは、さまざまな外国語教育の関係者が一堂に会し、外国語教育の未来を拓くための具体策を練り、それを実現するための機会としている。2013年から「外国語教育の未来を拓く」というテーマを掲げ、本シンポジウムは行われてきた。この間、多言語、複言語に対する世間の関心、多様な外国語教育の実践、ネットワークは少しずつではあるが、進んできている。

多言語・複言語教育は、単に多様な言語能力を身に付けることだけを目指しているわけではない。まさに21世紀のグローバル社会の要請に応え得る、豊かな人間性を育てることにつながる極めて重要な教育であるといえる。それは、今日の多言語・多文化共生社会を切り開いていく人材の内側からの成長を促すことにもつながり、その重要性はさらに高まっているのは自明である。

第6回の本シンポジウムでは、つながり始めた多言語・複言語教育の状況を踏まえ、多様な外国語教育の価値を多角的に考察し、その進化を共有することで、さらなる推進を目指すきっかけとしたい。

☞ 実施体制

特別協力：

一般財団法人日本私学教育研究所、公益財団法人国際文化フォーラム

後援：

文部科学省、外務省、東京都教育庁

参加者：

小中高校・大学の外国語教育・国際理解教育・異文化間コミュニケーション等の教育関係者、教育行政機関関係者、学校の管理職、メディア、企業関係者ほか 150-200名

参加費用：

JACTFL 会員/無料、一般/1000円（資料代、会場整理費）

☞ プログラム

9:30～ 開場・受付

【午前の部】 410 教室

◇10:00～10:30

開会・挨拶 山崎 吉郎 JACTFL 理事長/日本私学教育研究所
江馬 一弘 上智大学学術研究担当副学長

司会進行： 黒澤 眞爾（関東国際高等学校副校長）

◇10:30～12:15

基調講演 田中 克彦（一橋大学名誉教授）
「多言語とのつきあい方ーことばの不規則性と類型」

司会進行： 臼山 利信（筑波大学教授）

◇昼休憩 12:15～13:15

【午後の部】

◇13:15～15:00

パネルディスカッション 日本の中等教育における多言語教育 1 410 教室

司会進行： 水口 景子（公益財団法人国際文化フォーラム）

趣旨説明： 山崎 吉郎（JACTFL 理事長）

◆発表 1： 「外国語教育政策の最近の動向」
金城 太一 文部科学省初等中等教育局国際教育課
外国語教育推進室長

◆発表 2： 「平成 29 年度外国語教育強化地域拠点事業における取組状況」
慶應義塾大学／名古屋外国語大学／大阪大学

◇休憩 15:00～15:15

◆15:15～16:45

分科会 「外国語教育の多様化の実現に向けて」

◆分科会 1 日本の中等教育における多言語教育 2 410 教室

司会進行： 神谷 善弘（大阪学院大学）

慶應義塾大学／名古屋外国語大学／大阪大学

◆分科会 2 豊かな人間性を育む実践報告 (1) 小学校・中学校の部 409 教室

司会進行：田島 久士（東京都大田区立糎谷中学校）

「スペイン姉妹校との国際交流継続を目指した教師側スキルの考察」

茂木 俊浩（光塩女子学院初等科）

八木 智裕（一般社団法人 Global 8）

「異文化理解をめざした国際教育の実践報告と今後の展望」

義永 美和（山口県山陽小野田市立小野田中学校）

「情報を伝える」その大切さへの気づきを願って

—外国人児童生徒支援に向けたガイドブックの作成より—

川口 直巳（愛知教育大学）

◆分科会 3 豊かな人間性を育む実践報告 (2) 高等学校・大学の部 408 教室

司会進行：大森 洋子（明治学院大学）

「「はじめて学ぶ、学びたい言語の学習に、自律的に取り組む」クラス

—山口大学国際総合科学部「言語学習の理論と実践Ⅱ」—

山本 冴里（山口大学）

「高校スペイン語既習者の異文化に対する意識

—インタビュー調査の結果から—

斎藤 華子（清泉女子大学）

高畠 理恵（東京都立杉並総合高等学校）

「楽しさの追究と創造性の育成

—関西大学ロシア語教科書プロジェクトの中間報告」

小田桐 奈美（関西大学）

北岡 千夏（関西大学）

◇16:45~17:00 410 教室

閉会・挨拶 吉田 研作 上智大学特任教授

司会進行：黒澤 眞爾（関東国際高等学校副校長）